

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 9 No 04

9 3 号

平成13年 4月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

怪我してわかったこと

- 良い患者とは -

院 長

皆さんに御迷惑をおかけしたことを、まずお詫びしたいと思えます。お陰さまで、診療できるようになりました。今回はこの経験で得た、患者さんの立場について考えてみましょう。

3月18日スキーで転倒して、足にかなりの激痛がありました。余りの痛みでしばらく立ち上がることができませんでしたが、ふもとまでもう少しということもあり痛みを耐えながら、やっとの思いでロッジに辿り着いたのです。家内が迎えにくることになり、しばらくロッジで20~30分程待っていたのですが、痛くて歩けなくなってしまいました。そういえば転倒した時「ボキッ」と音がしたような気もして、骨折という言葉が頭をよぎりました。救急病院でのレントゲンで、案の定骨折の診断でした。翌日別の診療所で診察を受け「手術が必要」と診断され、総合病院を紹介されました。病院での診断では、逆に「手術は必要無い」と判断されました。ここで自分が急に患者の立場となり診療所と病院の判断に違いに、はたと困ってしまいました。いったいどちらの整形外科医の判断が正しいのか、小児科医では決められるものではありません。幸い知り合いの整形外科医に相談して、初めて手術が必要ということになった次第です。最終的な診断までの気持ちは、全く患者さんと同じです。一体どちらを選択すればいいのか、どちらが自分の将来に明るさを与えるのか、休診になれば患者さんに迷惑がかかる、休日当番は大丈夫だろうかなど、大きく心が揺れ動いたことは確かです。最終的には、手術をしないで将来問題が起こった時後悔しないよう、手術を受ける決意をしたのです。

手術が無事終わり、麻酔が切れる頃から次第に足の痛みが強くなってきました。何とか我慢していたのですが、痛みはどんどん強くなってきます。自分の性格なのか医師と

いう立場なのか、「この程度の痛み（骨折の経験はありません）でナースコールを押していいものか」、「看護婦さんは他の仕事で忙しいだろう」、「休み時間でくつろいでいるのかもしれない」などの思いが頭を巡り、必死に我慢していました。「痛い痛い」という言葉を漏らしながら、痛みにも必死に耐えていました。しかしどうしても我慢が出来なくなり、やっとの思いでナースコールを押したのです。「どうしましたか」と来てくれた看護婦さんは、「手術後の痛みは我慢しても取れないので、痛くなったら遠慮なく言ってください。」と優しい言葉をかけてもらいました。鎮痛剤を入れてもらったのですが、優しい言葉だけで少し痛みが遠のいたような気がしました。次からは痛みを我慢せずに、コールしたことは言うまでもありません。



自分が患者さんの立場に立ってみて、“果たして良い患者とは”と、考えてみました。診断の狭間で不安になった気持ち、痛いとか辛いとかの苦しみを、相手が医師だからといって我慢することはないのです。一般的には医師や看護婦の言うことを聞いて、中身がわからなくても素直に医療を受けるというのが、“良い患者さん”と思われがちです。しかし、そんなことはないのです。「何か言って機嫌を損ねたら、先生や看護婦さんに嫌われたらどうしよう」。そんな気持ちは誰にでもあることですが、誰のための医療かということ、もう一度考えてみてください。

患者さんは自分の疑問を解消して、素直に痛みや不安を訴え、安心して医師の治療を受ける。安心が治療を任せるという信頼関係を作るのです。その信頼関係が、更なる安心を与えてくるのです。自分のために医療を受けるという強い意識を持つこと、それが本当の意味で“良い患者さん”だと思います。

臨時休診のお知らせ

4月10日(火)は、ポリオ当番で健診・予防接種の中止を案内していましたが、しかし同日整形外科受診の必要性が生じたため、**午後休診**とさせていただきます。

しばらくの休診の上、今回も御迷惑をおかけしますが、よろしく御理解の上御協力をお願いします。

しばらくはギプスで、診療でも御迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

4月のお知らせ

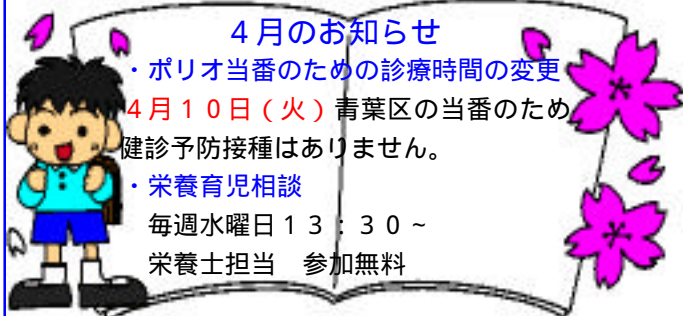
・ポリオ当番のための診療時間の変更

4月10日(火) 青葉区の当番のため
健診予防接種はありません。

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30~

栄養士担当 参加無料



読者の広場

今回のことは、若気の至りというか、やはり年寄りの冷や水でしようか。お見舞いのメールをたくさん頂きました。メールを頂いた方には後で詳しくと御返事していたので、この場を借りて説明をします。年寄りの冷や水というのは、息子に負けまいと思い、午後からわざわざスノーブレード(ストックなしの短いスキーです)を借りたことが原因でした。すこし調子に出てきた矢先、転倒したのです。このスキーは転んでも外れないので、年取った骨には大きな負担がかかったようです。不注意による骨折で患者さんだけではなく、お手伝いの先生始め、様々な方々に御迷惑をおかけしました。今後は十分慎重にと、反省しています。今回の経験を、これからの診療に生かしていこうと思っています。心配のメールやお見舞いを頂き、多くの人たちに支えられていることを改めて実感しました。皆さん、本当にありがとうございました。(感謝、感謝)



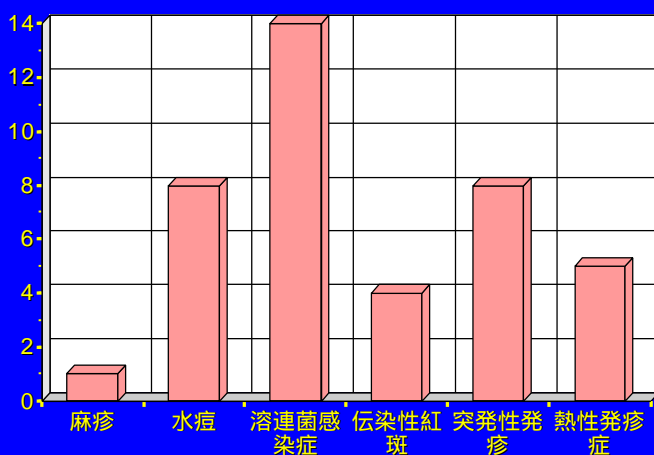
先月は心配かけたせいか、40通近いメールをいただきました。先月号の一面記事に対するメールをいただいたので紹介します。本人の希望により、今回は匿名(遠くから通ってくる方です)とさせていただきます。「早いもので川村先生にお世話になるようになって半年経ちました。3月のクリニックニュースで病院の選び方について書かれていたので、以前から感じていたことを書きます。私の病院の選び方は、ズバリあまり混んでいない所と言うことでした。あんまり空いていると、腕前(?)に不安があるし混んでいて待ち時間が長いと、重い病気を移されそうで怖いからです。都合の良い話ですが、適度に混んでいれば「まあ安心かな」というところでした。そんなわけで以前通っていた病院は、私の条件に合っていたのですが先生が、ほとんど話をしてくれない方でした。こちらが聞けば答えてくれるのですが、小さい声でもごもごと話すので聞き取りにくいのです。でも重ねてはたずねにくいし。それでも順調に回復しているうちは良いのですが、なかなか治らなくなってくると、話は違ってきます。そんなことで、先生の病院へ来る気になったのです。先生のこと、朝日ウイルを読んでいたのでお名前は知っていました。でも私の思い込みで、こういう新聞に書いているところは混んでいるだろうし、先生もとっつきにくい人だろうと考えていました。でも実際に診察していただいて、私が間違えていたことが判りました。診断は前の先生と同じでしたが、説明の仕方がまったく違いました。これってとても大事なことだと思います。小児科に来るお母さんって、とても不安な気持ちでいます。そこへとどめを指すように、母親の注意不足で病気になったみたいと言われ方をすると本当に落ち込んでしまいます。でも先生は違いました。安静にするように言われても、出来ないのが子供だと。待合室でお友達と騒いでいて、申し訳なく思っているわたしに気にしなくても良いといってくださいたり、注射嫌いの が、がんばって注射をして偉いと誉めてくださったり、先生にとっては何気ない一言でも、私にとってはとても大きな一言なのです。こういうわけで、私はかわむらクリニックを主治医に決めさせていただきました。先生、お忙しいでしょうがこれからもさりげない一言をお願いします。ずいぶん長くなってしまいました。申し訳ありません。先生に私の気持ちを伝えたくて、つい力が入ってしまいました。これからも長い御つき合いをお願いします。」。こちらこそ、よろしく!!。

このような感想はとてもありがたいことです。院内報がちゃんと読まれていることを、確認できるのです。御意見御感想を、お待ちしております。

かわむらこどもクリニック患者専用アドレス patient@kodomo-clinic.or.jp (携帯からでも可)

i - MODE 小児科ミニ知識 <http://www.kodomo-clinic.or.jp/imode/iwill.html>

3月の感染症の集計



ポリオの予防接種について

毎回接種日を案内していましたが、紙面の都合で省略させていただきます。該当者には、予定表を配付しています。不明な点については、スタッフまで御遠慮なく!。

水痘はやや少なくなってきました。先月では溶連菌感染症が多く目立つようになりました。

またグラフには示していませんが2月まで、なりを潜めていたインフルエンザが3月には3倍にも増加しています。後半にはかなり少なくなってきましたが、最近の感染症情報でもA型が2種類、B型が確認されています。今後は新学期とともに、B型の流行が心配されています。また先月にもお伝えしましたが、アデノウイルスと思われる高熱の風邪も多く、むしろインフルエンザより重症感があるようです。インフルエンザのB型は検査で確認できないこともあり、初期での区別は困難を極めていきます。

編集後記

本当に迂闊でした。「穴があったら入りたい」という気持ち、久しぶりに実感しました。医師としての責任ということも、もう一度考えなければなりません。春だというのに、外に出られない。これも自業自得ということでしょう。不自由さを感じるたびに、反省する毎日です。

